

# 令和7年度 プレジャーボート対策研究会 報告

## I 開催概要

日 時：2025年8月28日（木）13時15分～17時15分

場 所：海事センタービル7階会議室

参加者：34 水域管理者（会場参加者：26名、Web参加者82名）

うち国の参加：国土交通省 港湾局、海事局、水管理・国土保全局、各地方整備局  
水産庁

当日は、以下の議事並びに進行のもと、4時間に及ぶ会を運営した。

詳細は会報（vol.144）において報告。

## II 議事等

1. 主催者挨拶 （一社）日本マリーナ・ビーチ協会 理事長 八鍬 隆

2. 国土交通省港湾局挨拶 国土交通省港湾局海洋・環境課 港湾環境政策室長 花田祥一

### 3. 研究会議事

(1) 「船価鑑定の考え方について」（講演1）

講師：小林 重成 新日本検定協会 物流・安全グループ輸送・安全ユニット

(2) 「FRP船リサイクルシステムの利用促進について」（講演2）

講師：黒田 光茂 日本マリン事業協会 FRP船リサイクルセンター室 室長

(3) 事例報告\_放置艇対策事例報告（不法係留船の撤去・処分事例）

1) 秋田県\_放置船に対する取組み

2) 三重県\_三重県における放置船撤去の事例

3) 和歌山県\_和歌山県のプレジャーボート対策

4) 千葉県\_船橋市日の出水路における不法係留船等の行政代執行及び簡易代執行の実施について

(4) 総合討論 （一社）日本マリーナ・ビーチ協会 調査研究部長 木下 明

① 放置艇の撤去・処分に関する悩みやボトルネックの共有

② 廃物認定基準や船価鑑定の考え方についての知見の習得

③ FRP船リサイクルシステムの利用促進方法の議論

④ R8年度実施予定の全国PB実態調査に関する質疑応答

## 4. 閉会

閉会後は交流会を開催（1時間）、会場参加者を中心に20名ほどの懇談の機会を設けた。

以上